



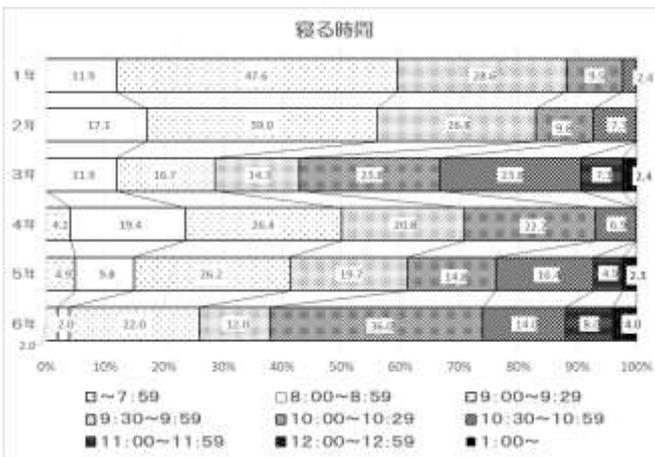
つながり

名張市立美旗小学校
学校通信
令和5年7月19日

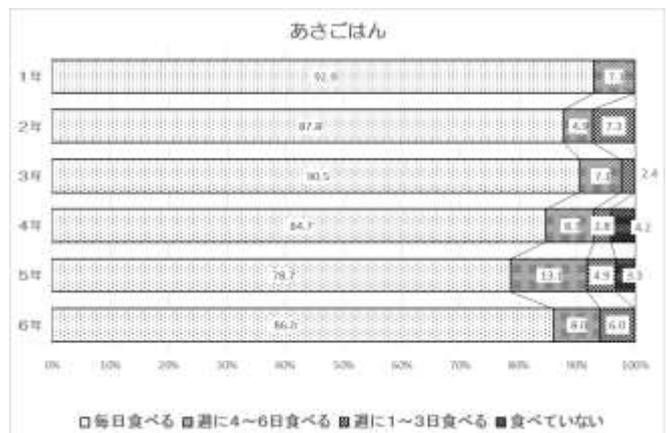
～みんな仲良く ほんつらつとした たのしい学校～

生活アンケートの集計結果より

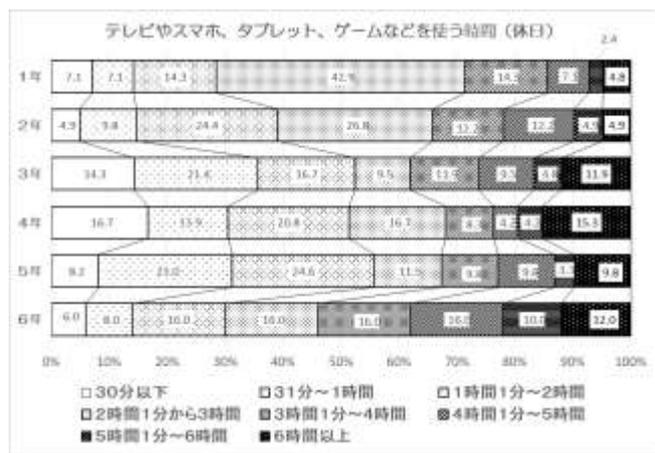
6月下旬に行った「生活アンケート」(1～2年は保護者、3～6年は児童が回答)の集計結果の中から、下の4つの項目についてお知らせします。(全項目は、ほけんだより第14号に掲載しています)



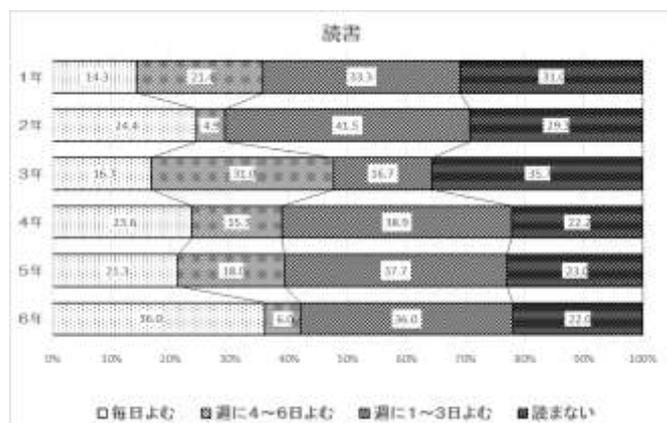
寝る時刻がとても遅い児童がいます。小学生には、9～10時間の睡眠が必要です。



朝食欠食児童が各学年で見られます。生活リズムチェックでは「朝、食べる時間がない」「お腹が空かない」等の理由を書いている児童がいましたが、熱中症のリスクや午前中の集中力保持のためにも、食べやすいものを少しだけでも食べてくるようにご協力をお願いします。



メディア使用時間の長さが、寝る時刻に影響している可能性があります。日本小児科医会ではメディアに触れる総時間を制限することが重要で、2時間以内を目安としています。ルールを決めて、声かけをお願いします。



読書活動で、読解力、想像力、思考力、表現力を養うことができると言われています。

各ご家庭におかれましても、お子様の健全な育成と効果的な学習環境の推進にむけて、ご理解とご協力をお願いします。

着衣泳（浮いて待つ教室）を行いました



7月13日(月)に、名張消防署の署員さんに来ていただき、5年生と6年生が、着衣泳を体験しました。着衣泳と言っても、着衣を着て上手に泳ぐことが目的ではありません。これから夏休みを迎え、水辺に行く機会もあるかと思えます。何かの拍子に服を着たまま水に落ちてしまった時にどのように対処したらいいのか、何をすることが大事なのかなどを学習しました。

最初に、事故が起こった時の対応として「落ちたらあわてず浮いて待つ」「救助はプロに任せる」といったお話をしてもらいました。また、体の中には肺に空気が入っているので、何もなくても浮くことができることやペットボトルはもちろんのこと、水にぬれた靴でも浮くことができ役に立つということも教えてもらいました。そして、どのようにすると上手に浮くことができるのか、実際に見本を示してもらった後に体験をしました。「頭を水に入れる」「手は上げない」ということに気をつけ、あおむけになって浮いてみました。最初は戸惑っている様子でしたが、「ゆっくりやっごらん」「うまいうまい」と声をかけてもらったり、背中を少し支えてもらったりしながら、どんどん上手に浮けるようになりました。また、浮き輪の代わりになるものとして2リットルのペットボトルを使って、実際に浮力を確かめ、身近なものが浮きとして使えることも学びました。



これからの時期、全国で水難事故の報道を目にします。あってはならないことですが、もしもの時に役に立つ体験ができました。ご協力いただいた名張消防署の皆さん、ありがとうございました。

8月の行事予定

8月10日(木)～16日(水) 学校閉校日

19日(土) PTA 環境整備作業 (AM)

29日(火) 2学期始業式 10:50 下校

30日(水) 短縮日課 11:00 下校

31日(木) 短縮日課 11:25 下校

9月 1日(金) 給食開始4限 13:15 下校

4日(月) 平常日課

※ 夏季休業中の電話対応について

<平日の勤務時間内(8:30～17:00)の場合> 美旗小学校 65-3009

<週休日及び休日、勤務時間外の場合> 市役所宿直室 63-2110、2115

<学校閉校期間の場合>

市役所開庁時間内(8:30～17:15)の場合 市教育委員会 63-7882

市役所時間外(休日・祝日を含む)の場合 市役所宿直室 63-2110、2115



もうすぐ1学期が終了となります。この1学期、さまざまな面におきましてご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。2学期も引き続きよろしくお願いたします。